

12月13日 全校朝会

初めに元気よく朝の挨拶をしましょう。おはようございます。

12月は「いのちと心の教育月間」です。大切にしている「命」についてもう一度しっかり考えましょうという月です。皆さんのクラスでも今週の道德の時間に「いのちの授業」を行いますよ。

さて、その「命」についてですが、今年はとても悲しいニュースがありました。愛知県の中学校では、同じ学校の生徒を包丁で刺してしまったということがありました。また、東京都の町田市では、小学校6年生が、いじめを苦に自殺をしてしまったということもありました。包丁で刺して人の命を奪ってしまうことはもちろんいけないことです。また、町田市のいじめは、タブレットを使った書き込みが原因だったとも言われています。包丁を使わなくても、タブレットの書き込みによって人の命を奪ってしまうことがあるのです。皆さんも、一人一台タブレットを使っていますよね。しっかりルールを守って使うようにしましょう。

ところで、「命」を大切にしましょうということは、よく言われることだと思いますが、なぜ命は大切なのでしょうか。「無くなったら元に戻らないから」、「いつなくなるか分からないから」、「一つしかないから」そうですね、命は一つしかないですよ。二つあるという人はいないと思います。

だから、大切なのです。では、この一つの命は誰のものですか。もちろん、自分のものです。ですが、この命は自分一人のものなのでしょうか。

自分の命は、突然この世に生まれたわけではないですよ。かならず、命が生まれるには母親と父親が必要になります。今は、様々な事情があって、必ずしもお父さん、お母さんが一緒という人ばかりではありませんが。生まれるためには、必ず父と母が必要です。そう考えると自分の命はお父さんの命とお母さんの命があって、初めて生まれるものですよ。一つの命ですが、そのためには二つの命があるということです。

今日は、この「高之」さんの命で考えてみましょう。この「高之」さんが誰だか分かりますか。校長先生のことですよ。「高之」さんには、「○子」さんというお母さんと「○志」さんというお父さんがいます。そして、「○子」さんには、「○澄」さんというお母さんと「○恵」さんというお父さんが、「○志」さんには、「○枝」さんというお母さんと「○三郎」さんというお父さんがいます。この人たちは、「高之」さんにとっておじいさん、おばあさんということになります。皆さんは、自分のおじいさん、おばあさんの名前は知っていますか。そして、このおじいさん、おばあさんにもそれぞれお母さん、お父さんがいたわけです。そう考えると、「高之」さん一人の命も実は、こんなに多くの命のつながりがあって初めて存在するということが分かりますね。この多くの命の中の一つでも、欠けてしまっていたら、「高之」さんの命は生まれることはなかったのです。

「高之」さんの命の話は、まだこれで終わりではありません。なぜかという、「高之」さんには、「○子」さんという奥さんがいて、「○太郎」さん、「○菜」さん、「○香」さん、「○香」さんという子供がいるからです。「高之」さんの一つの命がまだまだこれから先の命にもつながっているということです。

これは、もちろん「高之」さんの命だけの話ではありません。皆さん一人一人の命についても同じです。皆さんの隣にいる友達の命でも同じことですよ。



高之



○子



○志



○澄 ○恵 ○枝 ○三郎



○子



○香



○香



○菜



○太郎

命は一つしかありません。しかしその命は、たくさんの命によってつながれてきて生まれたものですし、これから先にもたくさんの命をつないでいくとても大切なものなのです。この大切な命が、いじめや暴力によって傷付けられたり、奪われたりするなんてことは決してあってはならないことなのです。どうか、皆さんも自分の命を大切に、そして皆さんと関わる全ての人の命を大切にしてください。

今日は、12月が「いのちと心の教育月間」ということで、「命を大切にしましょう。」というお話をしました。これで、朝会のお話を終わります。

「高之」さんの命のつながり

